

A 伝わる案内図

基礎～標準 1 | 解答・解説

記述は、表現が違ってても必要な内容と条件を満たせば正答です。キーワードの有無だけでなく、意味の関係を評価します。

問1 問いの種類

答え：イ

解説 「なぜ」は理由を問う。作り直した方法や感想ではなく、場所を見つけにくくした原因を答える。

問2 抜き出し 16字

答え：読む目的に合わせて分けたのである

解説 「必要な情報を捨てたのではなく」のあとに、情報を分けた考え方が示されている。

問3 根拠を選ぶ

答え：ウ

解説 ①段落で、盛り込んだ情報の多さと、文字の小ささがつながっている。

問4 主語と述語

答え：ア

解説 「工夫は」に対応する述語を「～ことだ」とすると、文のつながりが整う。

問5 字数を確かめる

答え：エ

解説 目・印・を・残・す・こ・と・。の八字。「。」を数え忘れないようにする。

A 伝わる案内図

基礎～標準 1 | 解答・解説 | つづき

問6 言い換え 解答例 25字

解答例：詳しい説明を載せた紙の置き場所を案内図に書くこと。

解説 ②段落の具体的な工夫に戻り、「残りの情報」と、それを見る方法を明らかにする。

別解・許容 「案内図に、詳しい説明の紙がある場所も示しておくこと。」など、同じ工夫が伝わる表現を認める。

採点の目安 「詳しい説明を載せた別の紙」と「その置き場所を案内図に示す」の二点を確認する。どちらかだけなら一部正答。文末の形は指定していない。

問7 理由説明 解答例 34字

解答例：案内図の詳しい説明が減り、移動に必要な目印を見つけやすくなったから。

解説 ③段落の「説明が減った」ことと「目印を見つけやすくなった」ことを、原因と結果としてつなぐ。

別解・許容 「説明を別紙に分けたため、道をたどるのに必要な目印が見やすくなったから。」も可。

採点の目安 「説明を減らす／別紙に分ける」と「移動に必要な目印を見つけやすくなる」の二点が必要。字数と指定文末も確かめる。

問8 本文に合わせて推敲 解答例 31字

解答例：移動に必要な目印は残し、その場で役立つ情報を選ぶことが大切だ。

解説 ③段落は、目印まで消すことを否定している。④段落の「その場で役立つ情報を選ぶ」と結び付ける。

別解・許容 「ただ文字を減らすのではなく、必要な目印や情報を選んで残すことが大切だ。」も可。

採点の目安 「量を減らせばよいとは限らない／必要な目印は残す」と「役立つ情報を選ぶ」の二点を確認する。「必ず」のみを削った答えは不十分。

B 合奏の入り口

基礎～標準 2 | 解答・解説

問1 問いの条件

答え：ウ

解説 心情は、会話・行動・地の文を根拠に読み取る。自分の経験や本文にない事情を加えない。

問2 抜き出し 24字

答え：みんなより遅れているところを見られたくなかった。

解説 「もう分かっている」という発言のすぐあとに、本心が直接書かれている。

問3 根拠と推測を分ける

答え：エ

解説 遙は自分にも入りがずれることがあると話し、印を付ける工夫を示している。

問4 理由に合う文末

答え：イ

解説 「なぜ」に対する答えなので、理由を表す「～から。」で結ぶと明確になる。

問5 言い換え 解答例 19字

解答例：私が合奏で入りの合図を見落とした部分。

解説 ①段落の失敗と、②段落の遙の印の説明を結び付ける。「そこ」のままでは指示内容を説明できない。

別解・許容 「私が合図に合わせて吹き始められなかった部分。」も可。

採点の目安 「私がうまく入れなかった部分」と分かればよい。小節番号や曲名は本文にないので求めない。

B 合奏の入り口

基礎～標準 2 | 解答・解説 | つづき

問6 気持ちの理由 解答例 38字

解答例：自分だけ遅れる不安があったが、遥に練習を頼み、合図に合わせて演奏できたから。

解説 ①の「遅れているところを見られたくない」と、③の「合図が見え、二人の音が重なった」をつなぐ。

別解・許容 「自分だけ失敗すると思っていたが、遥と練習し、入りを合わせられて安心したから。」も可。

採点の目安 「自分だけ遅れる／失敗する不安」と「練習で合図に合わせられた」の二点が必要。字数・指定文末を確認する。

問7 本文にない説明を避ける

答え：ア

解説 ④段落は、互いのずれを教え合う関係を示す。勝ち負けの目的は本文に書かれていない。

問8 変化を条件付きで書く 解答例 41字

解答例：初めは間違いを隠そうとしていたが、今は仲間と教え合いながら直していこうとしている。

解説 ①の隠したい気持ちと、③④の練習を頼み、互いに教え合う姿勢を対比する。

別解・許容 「初めは失敗を見られたくなかったが、今は人に助けを求め、互いに支えながら練習しようとしている。」も可。

採点の目安 「間違いを隠したい」から「助けを求める／互いに教え合う」への変化が必要。指定した二つの語と字数を確認する。

C 直し跡のある道具

発展・応用 | 解答・解説

問1 説明の対象

答え：ア

解説 ③段落の「古さそのものの価値ではない」のあとに、見直した対象が示される。

問2 抜き出し 6字

答え：修理できるか

解説 危険な持ち手を無条件に使い続けるのではなく、修理の可能性を確かめる。

問3 言い換え 解答例 18字

解答例：持ち手が手になじんで持ちやすいこと。

解説 実際にほうきを使った場面なので、持ち手の握りやすさを表している。持ち手全体が手の中に隠れる意味ではない。

別解・許容 「握ったときに手に合って、扱いやすいこと。」も可。

採点の目安 「手になじむ／握りやすい／持ちやすい」という意味を確認する。手の中に全体が入るという説明は認めない。

問4 不要な内容を除く

答え：ウ

解説 理由に必要なのは、折れた穂先を短くする修理と、石の間の葉に届く働きである。最後に布を巻き直したことは、穂先の形が変わった理由ではない。

C 直し跡のある道具

発展・応用 | 解答・解説 | つづき

問5 理由をまとめる 解答例 36字

解答例：折れた穂先を短くして直すうちに、石の間の細かな葉にも届く形になったから。

解説 ②段落の祖父の説明と、使って分かった働きをつなぐ。単に「古くなったから」では理由にならない。

別解・許容 「傷んだ穂先を切って直すうちに、庭の石の間の落ち葉まで集められる形になったから。」も可。

採点の目安 「折れた／傷んだ穂先を短くして直す」と「石の間の葉に届く」の二点が必要。字数と指定文末を確かめる。

問6 言い切りを確かめる

答え：エ

解説 ③段落は、安全を確かめ、修理が難しければ替える必要を認めている。

問7 二つの見方を整理 解答例 38字

解答例：新しい物を選ぶときは形や機能を比べ、直して使うときは自分の使い方を振り返る。

解説 ④段落の初めの二文を対比してまとめる。どちらの行為の説明が分かるように書く。

別解・許容 「新しい物では形や働きに注目し、直して使うときにはこれまでどう使ったかを考える。」も可。

採点の目安 新しい物＝「形や機能」、直して使う＝「自分がどう使ってきたか」の両方が必要。片方だけなら一部正答。

問8 行動の意味 解答例 48字

解答例：古いほうきは替えればよいと思っていたが、工夫して使う価値に気付き、自分も手を加えて使おうとした。

解説 ①の「替えればよい」と、②④の使いやすさや工夫の発見を結び付ける。古い物をすべて残すという意味ではない。

別解・許容 「初めは新しく替えたいと思ったが、庭に合わせた工夫を知り、直しながら使うよさを大切にしようとした。」も可。

採点の目安 「古い物は替えればよい」という初めの考えと、「工夫して直しながら使う価値を認める」という変化が必要。

D 休憩所をどこに置くか

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点

問6～8は内容を先に採点し、字数・指定文末・指定語の条件は各問の基準で減点します。表現が違ってても、同じ内容なら認めます。各問の下限は0点です。

問1 問いの条件〔8点〕

答え：ウ

解説 問われているのは、場所の名前だけで決めない理由である。最終結果や自分の希望ではない。

問2 抜き出し〔8点〕 20字

答え：必要な場所で、無理なく休めるようにしたい

解説 ③段落で、共通する願いとしてかぎカッコに入れて示されている。

採点の目安 本文どおりの抜き出しで8点。句読点を含めて確認する。

問3 本文と解答を照合〔10点〕

答え：イ

解説 ③段落は、共通の願いを認めながら、求める条件の違いも残るとしている。

問4 主語と述語〔10点〕

答え：エ

解説 「予定は」という主語には、「～ことだ」という述語を対応させると文が整う。

問5 本文にない事実〔10点〕

答え：ア

解説 ④段落では、現地で確かめてから話し合う予定で、設置場所はまだ決まっていない。

D 休憩所をどこに置くか

定期テスト対策 | 解答・解説 | 100点満点 | つづき

問6 言い換え〔16点〕 解答例 34字

解答例：その場所を選んだ人が、どんな場面で何に困っているのかを確かめること。

解説 ②段落の聞き直しに注目し、場所の提案のもとにある不便や必要を調べることだとまとめる。

別解・許容 「場所の希望だけでなく、そこで休みたい人の事情や不便を聞いて理解すること。」も可。

採点の目安 内容16点：「案を出した人の理由」に着目して8点、「どんな場面で何に困るか／なぜ休みたいか」を確かめて8点。「人」という名詞自体は必須ではなく、案の理由と事情・不便との関係が伝わればよい。字数範囲外は1点、指定文末でない場合は1点減点。下限0点。

問7 理由説明〔18点〕 解答例 44字

解答例：日陰や広場の見え方など望む条件は異なり、候補地がそれぞれの条件を満たすか確かめたいから。

解説 ③段落に残る条件の違いがあり、④段落で候補地がそれを満たすか調べる。共通点だけで結論を急がない。

別解・許容 「共通の願いがあっても必要な日陰や見晴らしなどは違い、各候補地がどの条件に合うか知る必要があるから。」も可。

採点の目安 内容18点：「人により望む条件が違う」9点、「各候補地がそれぞれの条件を満たすか確認する」9点。具体例の語は必須ではない。字数範囲外は1点、指定文末でない場合は1点減点。下限0点。

問8 条件付き記述〔20点〕 解答例 49字

解答例：それぞれの案の理由から困り事を理解し、共通の願いと残る違いを確かめて、条件に合う案を話し合うこと。

解説 ②の理由を聞く働き、③の共通点と違い、④⑤の条件を比べて話し合う姿勢をまとめる。

別解・許容 「各案の理由を聞いて困り事をつかみ、共通する願いと条件の違いを整理して、よりよい場所を話し合うこと。」も可。

採点の目安 内容20点：「理由から困り事を理解」8点、「共通する願いと残る違いを確認」8点、「条件を踏まえて話し合う」4点。字数範囲外は1点、「理由」「違い」のいずれかが欠ける場合は、欠けた語の数にかかわらず1点減点。下限0点。文末の形は指定していない。